

*****2013. 10.25*****

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

短編（科学のよもやま話）第189号

来春の花粉の飛散予測



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。
3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された
皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

発行済みのメルマガは、当店ホームページからご覧頂けます（一部を除く）。



<http://www.kenkodo-igaku.jp/backnumber.html>



*****2013.10.25*****

短編（科学のよもやま話）第189号

来春の花粉の飛散予測

◎ a p i t a l （朝日新聞の医療サイト）

○記事のタイトル

来春の花粉、西日本は多め 気象協会の飛散予測

○記事の内容

日本気象協会は9日、来春のスギ・ヒノキ花粉の飛散予測を発表した。

飛散量は例年の倍近かった今春よりは全国的に大幅に減るが、例年と

比較すると西日本で多め、東日本でやや少ない程度になりそうだ。

花粉の飛散量は多い年と少ない年が交互にくる傾向がある。来春は東北から東海地方にかけて今春の3～5割、近畿から九州地方の西日本は3～8割になるという。2004～13年の平均値と比べると、東北や関東、北陸でやや少なく、東海や九州で例年並み、近畿や四国でやや多い飛散量と予測している。

◎来週号からは、「花粉症について」と題して3回シリーズでお伝えします。

273号 3回シリーズの1回目（11月01日発行）

1. 花粉症と減感作療法
2. 減感作療法の意義

短編（科学のよもやま話）第190号（11月08日発行）

花粉の飛散量と症状のひどさとは一致しない

274号 3回シリーズの2回目（11月15日発行）

3. 花粉症の漢方薬

短編（科学のよもやま話）第191号（11月22日発行）

花粉症でない方の、花粉症にならないための注意点

275号 3回シリーズの3回目（11月29日発行）

4. 花粉を体内に入れないことの重要性
5. 花粉を体内に入れない方法

発行済みのメルマガは、当店ホームページからご覧頂けます（一部を除く）。

↓ ↓ ↓ ↓

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/m-magazine.html>

E-mail: <mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp>

—[プロフィール]—

■長澤 昭（ながさわ あきら）1952年 静岡県生まれ

1980年に薬局を創業。

2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。

2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完成させる。

現在は、当店HPにて公開中 <http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/m-magazine.html>

登録／解除の方法

↓ ↓ ↓

<http://kenkodo.web.infoseek.co.jp/melmaga.html>

（E-Magazine からご購入の方はこのメルマガの一番下に解除フォーム有り）

注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なっています。現在治療中の方はかかりつけの主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果について、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: <mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp>

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合はご一報ください。
